

研修No. 6 2

2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3月 15日
研究・研修課題名	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師の取得
研究・研修組織名（所属）	放射線部
研究・研修責任者名（所属）	宮原 善徳（放射線部）
研究・研修実施者名（所属）	石飛 千聖（放射線部）

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果（ ）
該当者名(所属)	石飛 千聖（放射線部）
学会名(会期・場所)、認定名等	検診マンモグラフィ認定技師
演題名・認証交付元等	日本放射線技術学会
取得日・認定期間等	2022. 8. 21
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目 的**

健診マンモグラフィ撮影診療放射線技師とは、マンモグラフィの知識と撮影技術の向上を図り、乳癌健診の精度を高め、それを維持することを目的とし、NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構(以下、機構)により認定される資格である。本研修の目的は、所定の必須講習の受講、および認定試験に合格し認定資格を取得することである。

②方 法

機構が主催する講習会(必須)を受講する。その後行われる検診マンモグラフィ技術認定試験(読影試験を含む)に合格し認定資格を取得する。

③成 果

この度、検診マンモグラフィ認定技師の試験を受講し、資格を取得することができた。ポジショニング講習では、それまで自分が行ってきたポジショニングとの違いを感じ、以降は教わったポイントを反芻しながら検査を行っている。また、画像を撮って終わりではなく、撮った画像が読影するうえで読みやすい画質かどうかということを評価することの大切さを感じた。機器の管理もマンモグラフィ検査を行う上で、指示通りの線量、圧迫がなされているかという機器自体の管理の方法も実際に教わった。今回の研修会でこれまでの自分の知識を更に広げ、スキルアップに繋げることができた。これからも日々研鑽を積み重ね、地域に貢献していきたい。